

かわにし

令和5年
2023年
8月

市議会だより No. 242

川西市議会
ホームページ



<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

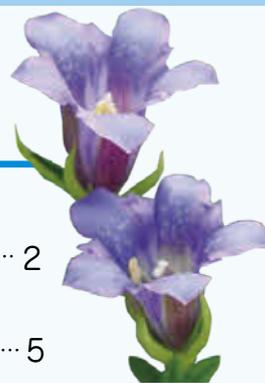
川西市議会

検索



キセラ川西せせらぎ公園（火打1丁目）

6月定例会号 もくじ



市花りんどう

非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金の支給に関する補正予算 など審議	2
常任委員会報告	
総務生活常任委員会	3
厚生文教常任委員会	4
建設常任委員会	4
審議結果等一覧・賛否の状況	5
一般質問	6
委員会視察報告	10

非課税世帯等に対する物価高騰重点支援 給付金の支給に関する補正予算など審議

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置など求め意見書提出

令和5年第2回定例市議会は、6月2日に招集され、27日間の会期を経て28日に閉会しました。

一般質問では、今期は20人の議員が登壇し、市政全般について市の考え方を質しました（6から9面参照）。

また、今期定例会に市長から提出された21議案については、本会議や各常任委員会において慎重に審議・審査を行っております（審議結果は5面参照）。

このうち、物価高騰等への対応として、住民税非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金の支給を内容とする補正予算案については、早期の支給に向けて、日程を早めて審議しました。そして、常任委員会において、支給に係るスケジュールや市民への周知方法などについて質疑が交わされた後、最終日を待たず9日の本会議で原案のとおり可決しました（4面参照）。

また、川西市応急診療所の事業終了に伴い、川西市応急診療所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例案が提出され、議案を付託された常任委員会では、これまで応急診療所が行ってきた応急診療業務の今後について活発な議論が交わされました（4面参照）。

このほか、市税条例の一部改正案や印鑑条例の一部改正案、市道路線の認定および廃止についても、慎重な審議を経て、いずれも最終日に原案のとおり可決しています（3・4面参照）。

また、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子ども増加や、さまざまな障がいのある児童生徒に的確に対応した教育の実現を国に求める「特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書」ほか1件の意見書を全会一致で可決し、関係機関に送付しました（12面参照）。

永年勤続表彰

6月14日に開催された「第99回全国市議会議長会定期総会」において、本市から次の議員が表彰されました。

これを受け、6月28日の第2回市議会定例会最終日に、議長から表彰の報告が行われました。

20年表彰

黒田 美智
西山 博 大

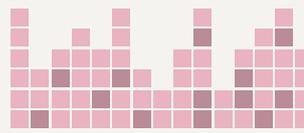
あいさつ状は お出しできません

議員から残暑見舞状等（答礼のための自筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

議会の活動状況

4月	18日○総務生活常任委員会行政視察 (山口県山口市)	5日○厚生文教常任委員会	○飛行場対策周辺整備調査特別委員会
27日○議会運営委員会		7日○議会運営委員会	
5月	23日○建設常任委員会 (千葉県柏市)	9日○第2回市議会定例会(第2日)	26日○議会運営委員会
15日○厚生文教常任委員会行政視察 (東京都足立区)	24日○建設常任委員会 (埼玉県さいたま市)	12日○第2回市議会定例会(第3日)	28日○第2回市議会定例会(最終日)
16日○厚生文教常任委員会行政視察 (東京都町田市)	25日○議会運営委員会	13日○第2回市議会定例会(第4日)	○厚生文教常任委員協議会
17日○総務生活常任委員会行政視察 (大分県大分市)		16日○総務生活常任委員会 ○総務生活常任委員協議会	○議会運営委員会
	6月	19日○厚生文教常任委員会	○広報委員会
	2日○第2回市議会定例会(招集日)	20日○建設常任委員会	
	○議会運営委員会		7月
			14日○議会運営委員会
			28日○広報委員会

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員

(委員長) 〇〇 (副委員長) 〇〇

◎岡 留美 ○岡田龍太郎

榮 奈津子 大矢根泰明 内山 裕介

川北 将 秋田 修一 北野 紀子

川西市条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法等の一部を改正する法律の制定等に伴い、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに3分の1の減税措置を適用することだが、対象となる物件数などの調査・検討状況や対象者等への周知について伺いたい。

答弁 今回の減税対象となるマンションの要件については、築後20年経過し、総数が10戸以上で、過去に大規模修繕工事を1回以上適切に行っていることなど、複数に及んでおり、市としては大規模工事の実績等は把握していないが、

厳しい要件が課されていることから、実際の申請数は少ないと考えている。

また、今年度策定予定のマンション管理適正化推進計画による認定が必要となることから、同計画がスタートする前に周知する必要があると考えている。

反対意見 今回の法改正で、導入される森林環境税は、本来国が確保すべき財源を市民に一律に負担を強いるもので導入そのものに反対である。また、軽自動車税に特定小型原動機付自転車の区分が創設されているが、交通事故などの増加を助長することになると考え、本案には反対する。

川西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の制定に伴い、コンビニエンスストア等の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付において、移動端末設備（スマートフォン等）によ

る申請に対応するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 令和5年5月から、マイナンバーカードを使用し、多機能端末機にスマートフォンをかざすことで住民票等を発行できるサービスが開始されているが、コンビニで当該サービスを利用して証明書の発行申請をしたところ、別人の住民票が交付されるなど、信頼性を大きく揺るがすトラブルが次々と発覚している。こうした状況の中で、印鑑登録証明書の発行に新たな機能を追加しようとする点に関して、市の見解を伺いたい。

答弁 ご指摘のトラブルは認識しているものの、当該条例を改正しなければ、スマートフォンの利用による印鑑証明書発行を希望する方が利用できないことから、利便性向上を図るため提案しているものである。

反対意見 スマートフォンが日常生活に欠かせない情報機器となり、デジタル技術の利便性については理解しているものの、国は普及させることばかりに注力し、その危険性を周知していない。昨今、トラブルが相次ぐマイナンバーカードについては、運用そのものを一旦中止すべきであり、市として、国に対してそのことを要望してほしいと考えてお

り、本案については、反対の立場である。

令和5年度川西市一般会計補正予算(第3回)〈分割付託〉

質問 農業用施設改良事業において、加茂井堰下流側の漏水箇所発見に伴う調査検討委託料等として337万4000円が追加されている点に関して、今後、池田市と連携し計画的に修繕していく必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁 国から施設の移管を受けることから、老朽化対策を図る必要性については当然認識している。しかし、修繕には多額の費用を要することから、水利を受けている本市と池田市での費用分担に加え、国から何らかの支援等を受けられないか研究を進めているところである。



加茂井堰

厚生文教常任委員会

委員 (委員長 〓 〓 副委員長 〓 〓)

◎平岡 謙 ○松隈 紀文
加藤 仁哉 加茂 文子 山崎 孝弘
黒田 美智 角田 慎司 中井 成郷

令和5年度川西市一般会計補正予算

(第2回)

質問 本補正予算案に計上されている物価高騰重点支援給付金の支給に係るスケジュールや市民への周知方法について伺いたい。また、転入者や転出者についても漏れなく支給できるのか伺いたい。

答弁 支給に係るスケジュールとしては、令和5年7月中旬に対象となる約1万7000世帯に申請の案内を送付し7月中には支給を開始したいと考えており、本補正予算案議決後に速やかにホームページに詳細を掲載するとともに、広報誌7月号に記事を掲載予定としている。また、今回の給付金については、令和5年6月1日を基準日として、住民基本台帳に登録されている世帯に対して支給しようとするもので、漏れなく支給できるものと考えている。

川西市応急診療所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定に

ついて

本案は、川西市応急診療所の事業終了に伴い、条例を廃止しようとするものである。

質問 これまで応急診療所が行ってきた応急診療業務については、現在、川西リハビリテーション病院が実施しているが、市として同病院が応急診療業務を行うことについて、何で担保しているのか伺いたい。

答弁 応急診療等を主体的に行うのは同病院を運営する法人であり、土地の使用に関して無償貸与とする契約書の中で、目的として回復期病床の確保および川西北部における地域医療安定供給を図ると記載しており、明確な項目はないものの協力を求めているところである。

反対意見 条例等により市の責任で運営されてきた市立応急診療所を廃止し、担保も不十分な形で民間に委ねることは、医療の確保だけではなく、市民の安全・安心を補填してきていたものが一切なくなる内容となっているため、本案には反対する。

反対意見 北部の住民からは、地域医療に関する疑問の声も聞いており、積み残した課題については、今後とも議論を継続する必要性があると考え、本案には反対する。

令和5年度川西市一般会計補正予算 (第3回) 〈分割付託〉

質問 民間保育所等施設整備事業補助金について、市の南部と北部で家賃などの費用が異なることが想定されるが、こうした点を勘案した制度設計となっているか伺いたい。

答弁 今回の補助金は、国の補助金を活用するもので、その負担割合は事業者が4分の1、残りの4分の3を国と市が負担するものであり、地域によって補助内容が異なることはないものと考えている。

建設常任委員会

委員 (委員長 〓 〓 副委員長 〓 〓)

◎坂口 美佳 ○吉岡 健次
長田 拓也 斯波 康晴 大崎 淳正
福西 勝 西山 博大 田中 麻未

市道路線の認定及び廃止について

本案は、市道の認定および廃止を行うに当たり、道路法の規定により、議会の議決を求めるものである。

質問 本案で認定および廃止しようとする路線に関して、団地の北側の道路もある中で、市営久代団地の間の専用通路として利用されていた箇所を残す判断に至った市の検討状況を伺いたい。

答弁 当該団地北側道路は幅員が狭く、車両の往来が困難であることを考慮し、近隣住民の利便性や利用実態などを踏まえ、当該箇所を残す判断に至ったものである。市営絹延団地解体工事請負契約の締結について

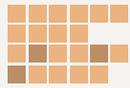
本案は、市営絹延団地解体工事を実施するため、請負契約を締結するものである。

質問 当該解体工事を進めていく上で、新たにアスベスト等の有害物質の含有が発見されるなど、今後、工事費が増額される可能性があるか伺いたい。

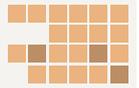
答弁 アスベストの含有について、設計段階で調査できる範囲は見込んでいるが、解体工事実施に当たり、天井を剥がすなどの工程において、設計段階では見込めなかった箇所のアスベストの含有が発見された場合は、工事費を増額せざるを得ない可能性もあると考えている。



市営絹延団地

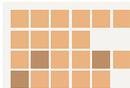


審議結果等一覧 第2回川西市議会(6月定例会)

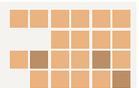


※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第2号	令和4年度川西市一般会計予算の継続費繰越しについて	総合計画・総合戦略策定管理事業 ほか7件	報告	-
報告第3号	令和4年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越しについて	庁舎維持管理事業 ほか30件	//	-
報告第4号	令和4年度川西市一般会計予算の事故繰越しについて	健康診査事業 ほか5件	//	-
報告第5号	令和4年度川西市介護保険事業特別会計予算の継続費繰越しについて	介護保険総務管理事業	//	-
報告第6号	令和4年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の繰越明許費繰越しについて	道路用地先行取得事業	//	-
報告第7号	令和4年度川西市水道事業会計予算の継続費繰越しについて	水道基幹施設再構築耐震化事業	//	-
報告第8号	令和4年度川西市水道事業会計予算の改良工事費、5期拡張工事費及び営業費用の繰越しについて	川西市水運用基本計画等構築支援業務委託 ほか3件	//	-
報告第9号	令和4年度川西市下水道事業会計予算の建設改良費の繰越しについて	東多田4号雨水幹線管渠実施設計業務委託等 ほか1件	//	-
報告第10号	専決報告について 専決第1号 川西市条例等の一部を改正する条例の制定について	軽自動車税の種別割のグリーン化特例の適用期限の延長、国民健康保険税の軽減措置に係る対象者の拡大 ほか	承認 (全員賛成)	-
報告第11号	専決報告について 専決第2号 令和5年度川西市一般会計補正予算(第1回)	食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対して特別給付金を支給する子育て世帯生活支援特別給付金事業に係る費用の補正	//	-
同意案第1号	公平委員会委員の選任について	公平委員会委員の任期満了に伴い、満村和宏氏を選任する	同意 (全員賛成)	-
議案第34号	高規格救急自動車の買入れについて	北消防署に配備している高規格救急自動車の更新時期が到来するため、3416万4430円で買入れ	原案可決 (全員賛成)	総務生活
議案第35号	市道路線の認定及び廃止について	市営久代団地の解体に伴う用途廃止により、市道を認定および廃止する	//	建設
議案第36号	川西市ふるさとづくり寄附金条例の一部を改正する条例の制定について	ふるさとづくり寄附金をより明確に地域貢献できる制度とするため、寄附金を活用する事業を見直す	//	総務生活
議案第37号	川西市条例の一部を改正する条例の制定について	森林環境税の導入に伴う規定の整備 ほか	原案可決 (賛成多数)	//
議案第38号	川西市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	コンビニエンスストア等の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付において、移動端末設備(スマートフォン等)による申請に対応するため、条例の一部を改正する	//	//
議案第39号	川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」等の改正に伴い、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	//
議案第40号	川西市応急診療所の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について	川西市応急診療所の事業終了に伴い、条例を廃止する	原案可決 (賛成多数)	厚生文教
議案第41号	令和5年度川西市一般会計補正予算(第2回)	非課税世帯等に対する物価高騰重点支援給付金の支給に係る費用の補正	原案可決 (全員賛成)	//
議案第42号	令和5年度川西市一般会計補正予算(第3回)	原油等高騰対策市内中小事業者支援給付金の交付、キャッシュレス決済を用いた消費者支援、学校給食の食材費高騰に伴う対応に要する費用などの補正	//	総務生活 厚生文教
議案第43号	市営絹延団地解体工事請負契約の締結について	市営絹延団地の解体工事を実施するため、工事請負契約を2億4184万6000円で締結する	//	建設
請願第2号	アジア地域全体の平和外交を政府に求める請願	アジア地域全ての国を包摂する平和外交を進めることを政府に要望することを求める	不採択 (賛成少数)	総務生活
請願第3号	川西市立総合医療センターの病床確保に関する請願	市立総合医療センターで救急の受け入れができない事例の検証を行い、必要な病床確保対策を行うこと、産後ケア事業も含め分娩と産後入院できるベッドの確保を求める	//	厚生文教
請願第4号	ヤングケアラー対策に関する請願	ヤングケアラーからの相談、SOSを発信しやすい仕組みづくりと、当事者からの相談にワンストップで対応する体制の構築を求める	//	//
請願第5号	川西の産後ケア事業の充実改善を求める請願	産後ケアサービスのニーズの実態調査と量的把握、およびニーズに見合う産後ケアサービスの提供を体制の整備を求める	//	//
選挙第1号	川西市選挙管理委員会委員の選挙について	委員の任期満了に伴い、新しい川西市選挙管理委員会委員を選出する	選挙 (指名推選)	-
選挙第2号	川西市選挙管理委員会委員補充員の選挙について	委員補充員の任期満了に伴い、新しい川西市選挙管理委員会委員補充員を選出する	//	-
意見書案第1号	新型コロナワクチン接種に関して効果の検証を求める意見書	国に対して、新型コロナワクチン接種におけるメリット、デメリットを調査し、正確なデータを国民に開示すること、当該ワクチン接種後に死亡および後遺症を負った事案に対して早急に調査を行い、救済措置を講ずることを求める	原案否決 (賛成少数)	-
意見書案第2号	特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書	12面参照	原案可決 (全員賛成)	-
意見書案第3号	小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	12面参照	//	-
請願第6号	「小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書	12面参照	採択	-



賛否の状況



※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

議案名	会派名		公明党				川西まほろば会				連合かわにし市民の会				日本維新の会川西市議団				日本共産党議員団				市民ファーストかわにし		無所属	
	議員名		大矢根 秀明	山崎 孝弘	榮 奈津子	大崎 淳正	平岡 謙	秋田 修一	松隈 紀文	岡田 龍太郎	加藤 仁哉	西山 博大	福西 将	川北 成郷	岡留 美佳	坂口 美佳	内山 裕介	角田 慎司	田中 麻未	黒田 美智	吉岡 健次	北野 紀子	斯波 康晴	加茂 文子		長田 拓也
第2回定例会	議案第37号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第38号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願第2号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	請願第3号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	請願第4号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	請願第5号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
意見書案第1号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

※地方自治法の規定により、西山博大議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

一般質問

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

窓口サービス

妊娠から子育てまでの窓口のワンストップ化を



市民ファーストかわにし 加茂 文字

質問 妊娠・出産から子育て期までの相談や手続きについては、現在さまざまな部署を訪問しなければならぬ。そこで、市として、これら手続きや相談の窓口をワンストップ化する考えはないか。



答弁

子育て支援に関する窓口については、家庭環境等により、必要なサービスや手続きが異なることや、制度そのものが非常に複雑であり、対応する職員の力量も求められることから、その一元化には課題も多いと認識しているが、先行事例も参考に、今後研究していきたい。

その他の質問項目

○こども・児童・生徒への「子どもの権利」の学びについて ほか

教育

中学校、自転車通学を解禁する考え聞く



連合かわにし市民の会 中井 成郷

質問

部活動の地域移行など、中学校生活が大きな変化を迎えようとする中で、他校や他地域の施設等に向かう移動手段が必要と考える。そこで、市として自転車通学を解禁する考えはないか伺いたい。

答弁

自転車通学については、部活動の地域移行に伴い、中学

健康

産前・産後うつ対策に特化したアプリ導入を



日本維新の会川西市議員 角田 慎司

質問

産前・産後うつに対する取り組みについて、既存の情報提供型アプリとの相乗効果を期待し、メンタル不調対策に特化したアプリを導入する考えはないか。

答弁

市では、保健センター等における相談支援や事業により、産前・産後うつの未然防止に努めているとともに、市内の子育て拠点においては、情報提供などのサポートを実施している。新たなアプリの導入については、既存アプリとの連携も含めて、今後研究していきたい。

その他の質問項目

○川西さくら園が医療型ではなく福祉型発達支援センターであることについて

教育

「セオリア」遠距離通学者に支援を



公明党 榮 奈津子

質問

市中央部1カ所にある、学びのスペース「セオリア」へ遠距離通学する児童生徒の保護者等の経済的負担軽減を図るため、通学費を助成する考えはないか伺いたい。

答弁

経済的支援を求める声があることは認識しているが、民間フリースクールなどさまざまな選択肢がある中で、公平性の観点から現時点でセオリアの通学費助成の考えはなく、不登校児童生徒を支援する施設の機能や役割、適正な配置などについては、不登校施策全体の在り方を考える中で検討していきたい。

その他の質問項目

○公共施設の男性トイレにサンタリーボックスを設置することについて

教育

小中学校のプールに遮光ネットの設置を



日本共産党議員団 吉岡 健次

質問

気候変動が進む中、水泳の授業を円滑に進める上で、熱中症対策は喫緊の課題と考えることから、全ての小中学校のプールに

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

遮光ネットを設置する考えはないか。

答弁

遮光ネットは、コスト面から設置する計画はないが、熱中症対策としては、全ての小中学校にWBG T（暑さ指数）計を設置している。また、水泳指導時の対策として、プールの水温調整や定期的な水分補給の指示などに加え、教員による監視など児童生徒の体調変化に対応できる体制づくりを行っている。

その他の質問項目

○飛行機騒音について市の認識と南部地域整備の今後について ほか

環境保全

「河川改修工事」景観維持に努めよ



川西まほろば会 加藤 仁哉

質問

県が多田地域で実施している河川改修事業において、周辺の樹木等が伐採されている。風光明媚な地域の景色を県と調整して可能な限り残していくことについて市の考えを伺いたい。

答弁

河川改修により周辺の樹木が伐採されているという地域の声は認識しているが、県からは御社橋周辺の岩等の保全や護岸工事の際して、自然環境に配慮したブロックを使用するなどの取り組みを行うと聞いている。加えて、御社橋の架け替えに当たっては、周辺の景観にも配慮したデザインを採用する予定

であり、県や地元と連携して整備を進めていきたい。



猪名川（多田地区周辺）

人権推進

ジェンダーレストイレ導入の考えは



無所属 長田 拓也

質問

欧米に倣い女性用トイレを廃止しジェンダーレストイレを導入する事例があるが、トラブルも次々と報告されている。そこで、本市において、将来的に女性用トイレを廃止してジェンダーレストイレを導入する考えがあるのか伺いたい。

答弁

ジェンダーレストイレ導入の必要性については認識している。しかし、男女別トイレについても、人それぞれプライバシーの考え方が異なることから必要と考えるおり、女性用トイレを廃止することは考えていない。

その他の質問項目

○本市における新型コロナ関連の情報 ほか

市民活動

公益目的団体に対する支援の考え方を質す



公明党 平岡 謙

質問

補助金等の見直しや施設使用料減免の見直しなど、行政の公益目的団体に対する支援が後退しているように見える。行き過ぎた改革によって、本市の文化・スポーツの振興などの公益に資する活動が後退することがあってはならないと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

市民活動を行う任意団体は、自主自立の運営が基本であり、その上で公益的な活動については支援するのが基本的な考え方であり、各種団体と時間をかけて対話を行っている。また、市民活動に対する支援については、既得権とするのではなく、定期的にルールを見直すことが重要であると考えている。

税務

償却資産の適正な申告への取り組みを



川西まほろば会 岡田 龍太郎

質問

固定資産税に係る償却資産については、申告方式であることを踏まえ、市には事業者の資産

保有状況を適正に把握し課税する義務があると考えますが、この点に関する市の取り組みを伺いたい。

答弁

償却資産は、法令に基づく各納税義務者の申告をもとに課税していることから、市としてはその保有状況を適正に把握していると考えている。一方で、該当者へのより丁寧な説明が必要と考えており、従来からの案内文書の送付等に加え、コロナ禍で実施できていなかった賃貸の共同住宅への現地確認など、今後勧奨を強化して徴収に当たっていききたいと考えている。

健康

化学物質過敏症の啓発活動を推進せよ



連合かわにし市民会 岡 留美

質問

化学物質過敏症については、平成21年に保険病名に収載されたものの、いまだ市民に正しい理解は進んでいないと考えることから、今後、さらなる啓発活動が必要と考えるが、市の見解はいかがか。

答弁

市としても、化学物質に苦しんでいる方の現状は認識しており、その存在を周知することが大切と考えていることから、これまでのホームページやチラシ等に加え、引き続き、さまざまな機会を通じて啓発を進め、多くの方の理解を得られるよう努めていきたい。

その他の質問項目

○いわゆる「ごみ屋敷」対策への取り組みについて

介護

**要支援のケアプラン作成
事務などの改善を**



日本維新の会川西市議員 内山 裕介

質問

全国的に不足するケアマネジャーの確保について、更新費用の補助にとどまらず、要支援のケアプラン作成に関する事務等の改善も必要と考えることから、本市における対応方を伺いたい。

答弁

昨年度より要支援のケアプラン作成に係る事務負担軽減と業務効率化を目的に、介護予防サービス計画書の記載事項簡略化等を実施している。今後さらに負担軽減に取り組み、必要なサービスを必要ときに利用できるよう、サービス提供体制の確保に努めていきたい。

その他の質問項目

○本市における高齢者の移動問題の解決に向けた取り組みについて

教育

**学校等での健診実施後の
受診率向上に努めよ**



日本共産党議員団 黒田 美智

質問

乳幼児等・こども医療費の無料化を契機に、学校等に

おける健康診断実施後の病院受診率向上につながる取り組みを強化すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

従来から受診勧告に伴う呼び掛け等を行っているとともに、結果にかかわらず直接保護者に伝える工夫をしている例もある。また、医療費の無料化を機に、その啓発も含めたアンケート等の実施を検討するとともに、ICTを活用して子どもたちが自分で健康状態を把握するような指導を進めていきたい。

その他の質問項目

○地域で顔が見える子育て応援できるまちづくりをめざして

公園緑地

**「特色ある公園づくり」
市全域へ展開を**



連合かわにし市民の会 川北 将

質問

大和地区においてワークショップを実施するなど、地域主体の特色ある公園づくりには大きく期待していることから、同施策を市全域へ展開する方策について伺いたい。

答弁

特色ある公園づくりの取り組みは、アプローチが幅広く規模もさまざまであることから柔軟な仕組みを検討しており、こうした内容を盛り込んだハンドブックを作成中である。そして、このハンドブックを地域への説明に活用すると

ともに、今後、広報誌やホームページ等で事業概要を周知する予定としている。

その他の質問項目

○広報における多言語対応について



大和第1公園（大和東1丁目）

都市整備

**「市街化区域編入」要望
に対する支援の考えは**



市民ファーストかわにし 斯波 康晴

質問

加茂地区の市街化調整区域に関して、令和8年3月の市街化区域編入の要望等も見られるが、こうした活動への支援について市の考えを伺いたい。

答弁

市街化区域への編入は県が決定するものであるが、まちづくりを迅速に進めるためには、地域住民の意見が一致することが最も肝心であると考えている。市としても地域が主体的に行うまちづくりに対して、地域の意向を踏まえ、必要な支援やサポートを検討していきたい。

その他の質問項目

○少子高齢化、人口減少時代の本市のまちづくりについての考え方

住宅

**「市営住宅」指定管理者
による運営状況聞く**



公明党 大崎 淳正

質問

市営住宅の管理運営について、本市では令和3年4月から指定管理者制度を導入しているが、指定管理者による運営状況について、市としての総括を伺いたい。

答弁

不具合箇所への対応等が制度導入前より迅速で運営の効率化が図れているとともに、受付窓口時間の延長などによるサービス向上や、直営時より歳出が減少するなど効果も見受けられる。住民とのコミュニケーションについては、高齢者等への巡回サービスの登録者数が増加するなど順調に推移している。

その他の質問項目

○下水道管路等の包括的民間委託を

導入する見解について

交通

持続可能な公共交通の取り組み問う

川西まほろば会 松隈 紀文



質問 今後、人口減少・少子高齢化が一層進行する中で、持続可能な公共交通を維持するための市の取り組み方を伺いたい。

答弁

今年度からの新たな取り組みとして、バスに乗るきつかけづくりのため、モビリティマネジメント教育を受講した児童へのバスの無料乗車券配布を開始する。公共交通利用者を増加させることは困難な状況ではあるが、行政だけでなく、地域住民や事業者とともに利用促進策を検討していく必要があると考えており、現在、策定中の（仮称）川西市公共交通計画の中で、地域課題に向き合い、それぞれにふさわしい公共交通体系を検討していきたい。

教育

市内に不登校特例校を設けよ

連合かわにし市民の会 福西 勝



質問 全国的に不登校特例校の設置が増えている中で、今後、学びのスペース「セオリア」との一体的な取り組みも含め、市内に

特例校を設置すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

特例校設置については、先進事例を視察するなど検討を重ねており、セオリアとの一体的な取り組みについても、その必要性は認識している。現在、こうした点を含め、市の不登校施策全体を検討しており、さまざまな意見を参考にしながら、優先順位を考慮して有効な施策を実施していきたい。

その他の質問項目

○上下水道事業の今後について

観光

「三ツ矢サイダー」発祥の地」PRの方策聞く

公明党 山崎 孝弘



質問 本市には、全国的な知名度の高さとブランド力を備えた「三ツ矢サイダー」の発祥の地が平野にあり、市の観光スポットになり得ると考えることから、市としてのPR方策を伺いたい。

答弁

現在のところ、市ではホームページ等での紹介に加え、メーカーの協力により清和源氏まつり等で三ツ矢サイダーの無料配布を行っているなど、PR活動を行っている。引き続き、メーカーと良好な関係を築きながら、新たな取り組みについても、可能であれば協議の上で検討していきたい。

その他の質問項目

○シティプロモーションについて

市民活動

青少年補導委員会廃止に対する市の見解質す

川西まほろば会 秋田 修一



質問 青少年補導委員会は今年度をもって廃止されるが、本来であれば、その役割を他の組織等へ移行し発展的に解消されるべきと考えることから、市の考えを伺いたい。

答弁

同委員会については、人材に加え、現状の補導委員へ依存する体制を見直す中で廃止という判断に至ったものだが、今後は同委員会が担ってきた役割を含め、それぞれの学校や地域の実情に応じて、必要な活動を学校運営協議会等で検討し、実施していく必要があると考えている。

その他の質問項目

○まちづくりを市民・地権者とともに考えていくことについて

交通安全

道路交通法改正に伴う安全対策聞く

公明党 大矢根秀明



質問 自転車のヘルメット着用が努力義務化されるなどの道路

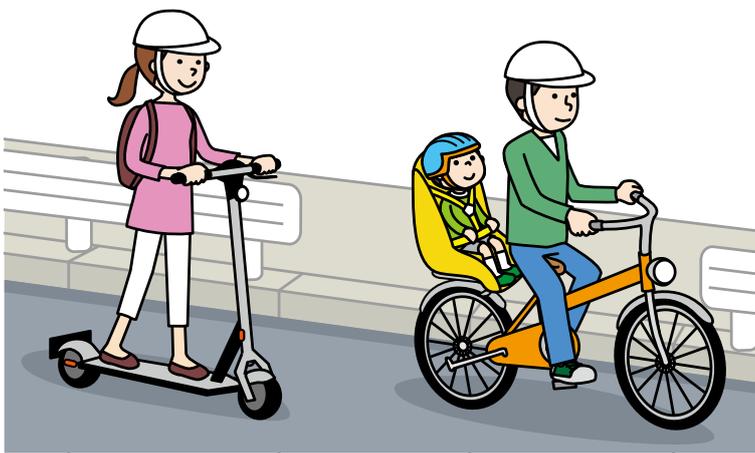
交通法の改正に伴う安全対策の検討について、本市の対応を伺いたい。

答弁

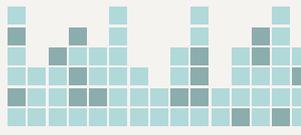
自転車の乗車用ヘルメットの努力義務について、学校での啓発や広報誌で周知を図るとともに、電動キックボードの交通ルールについても広報誌に掲載予定である。今後とも、これらを含めた交通安全全般に関して、広報媒体を活用した啓発に加え、体験型イベントなど、さまざまな機会を捉え、周知、啓発に取り組んでいきたい。

その他の質問項目

○带状疱疹ワクチン接種助成及び周知について



委員会視察報告



総務生活常任委員会

●実施日

令和5年5月17日～5月18日

●視察事項

大分県大分市

「中、心市街地活性化事業について」

山口県山口市

「総合型地域スポーツクラブについて」

●視察委員

岡田龍太郎 榮奈津子 大矢根秀明

内山裕介 川北 将 秋田修一

岡 留美 北野紀子

大分市では、「中心市街地活性化基本計画」についての取り組みや課題等を伺いました。

第1期計画時、「駅周辺総合整備事業」（駅の高架化と周辺区画整理等）に取り組んだものの、思うような成果を得られなかったことから、第2期計画以降は駅ビル再整備等をはじめとする官民等連携、商工事業者や地域との協働等を進め、4期目が進行中の現在は、駅前を基点に市の中心部を回遊するルートができるなど、全国的にも好例とされる取り組みが進めら

れています。

今後は、さらにぎわいの創出に工夫を凝らしたいとのこと、参考にするべき点が多々ありました。

山口市では、総合型地域スポーツクラブの成り立ちや特色ある取り組みについて調査しました。本市でも20年以上前から県の施策の下、同様の活動等が展開されてきましたが、

少子高齢化が進む中で、活動の維持、継続等にさまざまな課題が出てきています。

山口市では、スポーツ振興のみならず、地域の活性化につながる狙いを持ち、国の方針に基づき先進的な取り組みを進められており、当該クラブの代表者から、具体的な活動状況や取り組み事例を聞くことができました。

これらの成果を持ち帰り、次につなげたいと、委員一同の思いが一致した調査となりました。

（委員長 岡 留美）



厚生文教常任委員会

●実施日

令和5年5月15日～5月16日

●視察事項

東京都足立区

「不登校児童・生徒への支援におけるICT活用について」

東京都町田市

「障がい児に係る支援について」

●視察委員

松隈紀文 加藤仁哉 加茂文子

山崎孝弘 平岡 譲 黒田美智

角田横司 中井成郷

我が国では、さまざまな困難や新たな課題に対応できずにいる子ども・若者が増え、引きこもりやニートなど若者の自立をめぐる問題や貧困、児童虐待、いじめ、不登校などの問題も依然として深刻な状況となっています。

そこで、当常任委員会では、足立区が実施している不登校児童・生徒への支援施策「不登校児童・生徒におけるICT活用」と、町田市が実施している障がい児に係る支援施策「子ども発達センター事業」の取り組みについて所管事務調査を行いました。

まず、足立区が実施している「不登校児童・生徒におけるICT活用」に至るまでの経過として、不登校の支援として、学校内の別室活用やチャレンジ学級（居場所）など学校以外の学



習の場を通じ、寄り添い支援を重点的に行ってきた一方で、外出もままならない子どもたちもいることから、「学校やチャレンジ学級にも行けない。でも勉強はしたい。」という子どもたちの気持ちに寄り添う施策が求められたため、新たな不登校支援を始めた」と説明を受けました。現在、オンライン活用による自宅からの授業参加と校内別室による授業参加を目指し、取り組みが行われています。

町田市が実施している「子ども発達センター事業」の取り組みでは、国の障害児福祉計画基本指針に基づく全ての項目が実施されていますが、通所支援に限らず、保育等訪問、医療的ケア児コーディネーター配置など、地域支援の取り組みの強化が図られています。

今回の視察を終え、委員全員が本市における不登校児童・生徒並びに医療的ケア児への支援強化の必要性を強く認識し、本市の施策展開への参考としました。

(委員長 平岡 讓)

建設常任委員会

● 実施日

令和5年5月23日～5月24日

● 視察事項

千葉県柏市

「下水道管路の包括的民間委託について」

埼玉県さいたま市

「移動支援事業（Aーデマンド交通、乗合タクシー）について」

● 視察委員

長田拓也 斯波康晴 大崎淳正
福西 勝 西山博大 坂口美佳
田中麻未 吉岡健次

本市では、下水道管の老朽化が進んでおり、修繕等が必要となっております。

そこで、千葉県柏市で先進的に行われている下水道管路の包括的民間委託について学びました。包括的民間委託では、限られた予算や職員数で維持管理を計画的に行い、下水道施設の保全や機能の確保、事故等の防止を目的とした予防保全型維持管理を行います。これにより初期費用は増加するものの、柏市では、25年間で約25億円のコスト削減効果があり、また、陥没等のリスクも低減できるため、サービスの向上につながります。

翌日は、埼玉県さいたま市で先進的に行われている、民間事業者主体による移動支援事業



（Aーデマンド交通、乗合タクシー）について学びました。さいたま市は、南北方向に運行する鉄道を結ぶ形で、東西方向に多くの路線バスが運行されています。路線バスとコミュニティバス等が持続可能な交通体系を構築するため、路線バスが不十分な地域にコミュニティバスと乗合タクシーを導入する補完交通と位置付けられ、高齢者や子育て層など誰もが利用しやすい交通サービスとなっております。

本市は南北に長い地形で、北部にお住まいの方は車で移動される方が多いように思います。仕事をリタイアされた方など、高齢者の運転免許返納件数は増加しています。市街地の病院への通院、買い物などのため鉄道に乗り継ぐ交通手段は、暮らしに欠かせません。

今回の視察で学んだ両市の取り組みを参考にし、本市の施策に生かせるところは生かしていきたいと考えています。

(委員長 坂口美佳)



受理した陳情



- 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書
- 交通空白地域の課題解決へ向けた陳情
- 御社橋の架け替え計画に関する陳情
- インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める陳情書
- 子どものために保育士の配置基準を引き上げるよう、国に対して、意見書の提出を求める陳情書
- 残骨灰に含まれる貴金属の売却に関する陳情書
- 速やかに電気、ガス、水道使用量を提出することを求める（陳情書）

- 速やかに清和台小、清和台南小を統合することを求める（陳情書）
- 平成26年12月3日付の市選管裁決の再検証を求める（陳情書）
- 公正な人事を求める（陳情書）
- 丹波少年自然の家に関する陳情書
- 東久代地区における沿道利用ゾーンを活用した生活利便施設の立地誘導および地域住民による空港周辺まちづくり推進に係る活動・事業の支援拡充をはかることについての要望

特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書〈要旨〉

文部科学省の「学校基本調査」によると、特別支援教育を受ける児童生徒は年々増加しており、教育現場では新たな特別支援教育体制の整備が必要となっている。

このような状況に適切に対処するためには、専門的な知識や経験を持った教員等の増員が必要不可欠である。また、共生社会の形成に向けて、「障害者の権利に関する条約」に基づき、子どもたちの多様性を尊重するインクルーシブ教育システムの構築が求められており、我が国の特別支援教育のさらなる拡充が必要である。

よって、当市議会は、政府において、医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもの増加や、さまざまな障がいのある児童生徒に的確に対応した教育を実現するために、特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置に向けて、特別支援教育支援員、特別支援教育コーディネーター、各種専門家の適切な配置への支援や、特別支援学校のセンター的機能強化への支援、および教職員への特別支援学校教諭免許取得への支援、特別免許状の強力な推進について、財政措置を含めた特段の措置を講じることを求める。

小・中学校におけるさらなる少人数学級推進と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書〈要旨〉

義務教育標準法が令和3年4月に改正され、小学校における学級編制標準が段階的に35人に引き下げられることとなったが、今後は、中学校での早期実施が必要であり、さらなる少人数学級の実現が求められている。

子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業の準備、児童・生徒とのふれあいに十分な時間を確保すべきであり、そのためには、加配による教職員の増員や、さらなる少人数学級の推進は必要不可欠である。

また、全国どこに住んでいても、子どもたちは等しく教育を

受ける権利を有していることから、財政力の差異による教育格差が自治体間で生じないように、豊かな学びの実現に向けた条件整備は、国の責任において行うべきである。

よって、当市議会は、国が令和6年度の予算を編成するに当たり、中学校での35人学級の早急な実現と小学校におけるさらなる少人数学級の推進、教職員の長時間労働是正の実現のための定数改善の着実な推進、教職員の安定的な新規採用に係る財政措置のほか、義務教育費国庫負担制度の堅持を強く要望する。

かわにし市議会からのお知らせ

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程、会議録や議員の政務活動費などについても掲載しています。また、本会議はライブ配信（生中継）を行っているほか、現在、6月定例会の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

9月定例会(予定)

8月28日(月) 午前10時	本会議(招集日)
9月 4日(月) 午前9時30分	本会議(一般質問)
5日(火) //	本会議(//)
6日(水) //	本会議(//)
7日(木) 午前10時	常任委員会
8日(金) //	//
11日(月) //	//
12日(火) //	決算委員会
19日(火) //	本会議(議案上程)
25日(月) //	本会議(最終日)

【市議会だより第241号の訂正について】

19ページ、大崎議員の一般質問の記事に誤りがありました。質問の1行目「視覚障がい者」となっているところ、正しくは「聴覚障がい者」です。おわびして訂正いたします。

閉会中の継続審査(予定)

10月 2日(月) 午前9時30分	決算委員会
3日(火) //	//
4日(水) //	//
6日(金) //	//
10日(火) //	//

10月臨時会(予定)

10月26日(木) 午前10時	本会議(招集日)
27日(金) //	本会議(最終日)

*急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。

広報委員会

委員 秋田 修一	副委員長 山崎 孝弘
委員 加茂 文子	委員 平岡 文子
委員 角田 文子	委員 川北 文子
委員 岡田 文子	委員 岡田 文子
委員 吉岡 文子	委員 吉岡 文子
委員 健次 文子	委員 健次 文子

域の人の「和」を広げていただければ幸いです。

行事などにご参加いただき、地域の人の「和」を広げていただければ幸いです。

コロナが5類に変更され、さまざまな規制が解除されつつはあるものの、まだまだ感染者が多数に及び、予断を許さない状態です。それ以上に異常気象や熱中症など、命に直結するリスクが高まっています。一人ひとりがそのリスクに立ち向かう、自分の身を守る姿勢が重要です。

もちろん、議会として、行政とともに市民の安全、安心について、常に議論し続け、住んで良かったと実感していただけるまちづくりを進めてまいります。

市内のそれぞれの地域で、いよいよ祭りや行事が復活してまいります。これまで以上に工夫を凝らし、市民の皆さんが交流できる場づくりを進めていただいているさまざまな団体、地域の方々に對して改めて感謝申し上げます。また、少しでも地域行事などにご参加いただき、地域の人の「和」を広げていただければ幸いです。